

# 生業・生活統合型多世代共創 コミュニティモデルの開発

研究代表者：家中 茂  
(鳥取大学地域学部・教授)

実施者・協力者： NPO法人ドットファイブトーキョー、NPO法人自伐型林業推進協会、智頭町、谷林業、清光林業  
NPO法人森のようちえん・まるたんぼう、智頭ノ森ノ学ビ舎、NPO法人なないろサーカス団ほか

実施地域： 鳥取県智頭町、奈良県吉野町・王寺町

## 背景

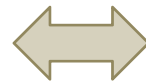
### <現代社会のボトルネック>

中山間地域の過疎化・少子高齢化と大都市の過度な人口集中・心身の消耗という著しいアンバランス  
「生業(経済)問題」と「生活(福祉)問題」が連なって、負のスパイラルを描いている  
政策や研究が縦割りゆえ、問題を解決しようとして、かえって生業・生活の断片化を再生産してしまう

## プロジェクトが目指すもの

### <目標>

中山間地域のアンバランスな人口構成を是正しながら、生業問題と生活問題を同時に解決する  
暮らしや地域の全体性と対応する統合的アプローチを構築する



### <主な評価指標>

森林に依拠した生業創出と生活支援サービスの仕組みが動く  
サポートデザイン機能を社会実装する

### <明らかにしたいこと>

「中山間地域ならではの福祉」のあり方はどのようなものか？  
中山間地域最大の資源「森林」を活かし、地域特性を踏まえた地場産業をいかにつくるか？  
「地域の生活知」と「大学の専門知」を統合し、みんながつかえる「ソーシャルな知」を育てるにはどのような仕組みが必要か？

### <成果の活用イメージ>

森林に依拠した生業を創り出し、住民相互の支え合いを生み出すために、「サポートデザインセンター」がバウンダリーオブジェクトとして機能し(ICTをつうじた「地域の知」の集積と活用)、セクターを超えた地域のさまざまなリソースの持続的利用のマネジメントを促す

## プロジェクトにおける持続可能性、多世代共創

世代を超えた森づくり＝縦軸(歴史的)の多世代共創

生活支援サービスとコミュニティ機能の拡充＝横軸(同時代)の多世代共創

